

平成27年度 第2回安芸高田市いじめ問題対策委員会 会議録

開催日時：平成27年11月26日（木）午後2時～3時30分

開催場所：クリスタルアージュ3階 視聴覚室

委員等の出席状況

委員等の出席状況	
出席委員	<p>(敬称略)</p> <p>坪田 雄二 公立大学法人県立広島大学 教授</p> <p>重本 久美榮 臨床心理士</p> <p>田邊 介三 安芸高田市PTA連合会 会長</p> <p>八島 芳樹 安芸高田市市民部人権多文化共生推進課 課長補佐 (野川栄治課長代理)</p> <p>佐々木 幸浩 安芸高田市福祉保健部社会福祉課 課長</p> <p>岩崎 猛 安芸高田市福祉保健部子育て支援課 課長</p> <p>坂本 克義 安芸高田市立小中学校教頭会 副会長</p> <p>井上 佳代 安芸高田市立小中学校教頭会 会長</p> <p>中井 純子 安芸高田市適応指導教室 所長</p> <p>松原 美和子 安芸高田市家庭教育支援員</p>
欠席委員	<p>土井 実貴男 安芸高田市総務部総務課 課長</p> <p>青山 勝 安芸高田市危機管理課 課長</p>
出席した 事務局職員	<p>永井 初男 安芸高田市教育委員会 教育長（開会あいさつ後に退席）</p> <p>児玉 晃 安芸高田市教育委員会事務局 学校教育課長</p> <p>宮地 嗣 安芸高田市教育委員会事務局 学校教育課学校教育指導係 主任指導主事</p>
傍聴者	なし

会議日程及び配布資料

○開会

1. 教育長あいさつ
2. 委員長あいさつ

○日程第1 報告

1. 平成26年度「いじめ」に関する調査結果の訂正について

○日程第2 協議

1. 平成27年度のいじめ事案について（平成27年度4月～11月）

○日程第3 その他

1. 第3回安芸高田市いじめ問題対策委員会について

○閉会

1. 副委員長あいさつ

—配布資料—

- ・平成26年度「児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」の一部見直しについて
- ・安芸高田市内小中学校における生徒指導上の諸問題について
- ・「平成27年度のいじめ事案について」に関する資料（会議終了後回収）

会 議 概 要

教育長あいさつ

本日は、第2回の平成27年度安芸高田市いじめ問題対策委員会のご案内をさせていただきましたところ、委員の皆様方におかれましては、ご多忙の中、出席いただきましたことに厚くお礼を申し上げます。ありがとうございます。

さて、第1回の委員会でもお話しさせていただきましたが、平成27年5月31日、岩手県の中学2年生の男子生徒が列車に飛び込み自死するという痛ましい事件が生じました。この事案については、亡くなった生徒がアンケート調査に、いじめを受けている旨を記載していたにもかかわらず、学校は人間関係上のトラブルと捉え、しかも、そのトラブルは解決済みと判断し、いじめと認知しなかったことに対し、各方面から様々な問題提起がなされました。この問題を受け、文部科学省は、平成27年8月17日、平成26年度分のいじめの認知件数を精査し、問題行動等の調査を見直すよう全国の関係機関へ依頼を行いました。

この通知の中で、次の2点が示されています。

1点目は、「いじめは予期せぬ方向に推移し、自殺等の重大な事態に至ることもあることから、初期段階のいじめであっても学校が組織として把握し（いじめの認知）、見守り、必要に応じて指導し、解決につなげることが重要である。」

2点目は、「文部科学省としては、いじめの認知件数が多い学校について、『いじめを初期段階のものも含めて積極的に認知し、その解消に向けた取組のスタートラインに立っている』と極めて肯定的に評価する。」というものです。

この「いじめ調査の見直し」については、10月27日にその結果が公表されました。いじめを認知した学校の割合は、全学校の56.5%で、いじめの態様については、「冷やかしかからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる」が最も多く、続いて「軽くぶつかられたり、遊ぶふりをして叩かれたり、蹴られたりする」等が多いことがわかりました。また、最近の特徴ではありますが「パソコンや携帯電話等で、誹謗中傷や嫌なことをされる」というものも、先ほど申しました例に比べれば、まだ割合としては少ないものの、今後ますます増えていくことが予想されています。安芸高田市においてもこのような事案が、本年度既に2件生じています。

さらに、このような流れの中、つい先日の11月1日には、名古屋市の中学1年の男子生徒が「いじめを受けた」とする遺書を残し、電車で飛び込み自死するという痛ましい事件が再び生じました。この事件では、両親も学校も、いじめを受けていたことに気づいていなかったことが報道されています。

これらに関する状況を踏まえ、ここ安芸高田市に目を転じてみますと、平成27年4月から10月末までのいじめの認知件数は、小・中学校共に5件ずつ、合わせて10件となっています。

それぞれの事案については、加害児童生徒への個別の指導や保護者連携により、その被害児童生徒へのいじめは解消されているものの、加害児童生徒が、後に、ターゲットを変えて別の児童生徒をいじめているということが特徴として見られます。このことは、いじめを繰り返す児童生徒は、家庭環境や生育歴、発達障害など、様々な問題を背景として抱えており、簡単には解決されていないことも多くあります。各学校の生徒指導体制をさらに強化するとともに、教職員一人一人が児童生徒への関わりをより一層深めていくことが必要不可欠となっています。同時に保護者、地域の皆さまを含めた関係者の皆様のご協力、ご支援も必要不可欠と考えております。

こうした状況の中、安芸高田市教育委員会といたしましては、今後とも、関係機関、関係団体と緊密な連絡をとりながら緊張感を持って、このいじめの問題に取り組んでまいりたいと思います。

委員の皆様におかれましては、ご心配をおかけしますがこれまで同様、引き続きご支援とご協力を賜りますようお願いをさせていただきます、開会の挨拶といたします。

本日はよろしくお願いたします。

(この後、退席)

<p>委員長あいさつ</p> <p>今日はよろしくお願ひ致します。</p> <p>今、教育長からも話がありましたように、今年度、安芸高田市で認知されているいじめ事案は10件とのこと。委員の皆さんそれぞれの視点で、事案について率直なご意見をいただければ、またいろいろな見方が出てくるのではないかと思います。そういった意味で、様々な立場の方に委員になっていただいていると私は認識しておりますので、皆さまから率直な意見をたくさん出していただきたいと考えております。</p> <p>今日はよろしくお願ひ致します。</p>	
委員長	<p>まず、日程第1「報告」ということで、「平成26年度『いじめ』に関する調査結果の訂正について」、事務局からお願ひします。</p>
事務局	<p>「平成26年度『いじめ』に関する調査結果の訂正について」報告します。</p> <p>先ほど、教育長もあいさつの中で触れましたが、本年度8月17日付けで文部科学省から、平成26年度はいじめの認知件数について再度調査しなさいという依頼がありました。資料にありますように、改めて文部科学省で示されているものとして、「初期段階のいじめも積極的に認知しなさい」ということが1つあります。そうすることによって、いじめの件数も増えていくことになるけれども、それはそれで良い。「積極的な認知は、その解消に向けた取組のスタートラインに立っている」と文部科学省は肯定的に評価しますと示しています。</p> <p>このことを受けまして、安芸高田市におきましても26年度分の調査を再度見直すよう学校にお願ひをし、結果として2件新たに追加となりました。前回の委員会で資料によって、小学校はいじめの件数を10件とお伝えしましたが、今回12件と変わっております。</p> <p>内容的には、軽微なものではありますが、1つは「嫌なことを言われる、からかわれる、悪口を言われる」という中身でありました。もう1つは、持ち物にいたずらをされたという内容でした。いずれの場合も、担任の先生等による初期段階の取組で解消しております。以上です。</p>
委員長	<p>この件に関しまして、ご質問・ご意見等ありませんか。</p> <p>それでは、次の日程に移ります。</p>
<p>《秘密会のため「日程第2」の会議録は省略》</p>	
委員長	<p>次に、日程第3「その他」をお願ひします。</p>
事務局	<p>次回、3回目ですけれども、2月から3月のところで日程調整をしたいと思っております。これが、本年度最後の会になると思っております。1年を通しての報告にしたいと思っております。よろしくお願ひします。</p>
委員長	<p>以上をもちまして、第2回安芸高田市いじめ問題対策委員会を閉会したいと思います。最後に副委員長からお願ひします。</p>
<p>副委員長あいさつ</p> <p>1時間半にわたりまして、ご協賛をいただきまして大変ありがとうございました。先ほども申しましたが、それぞれの事案が複雑化して多様な形態の中で起こっているということを改めて感じました。</p> <p>今回報告のあった事案によっては、一応「解消」となっているものについても、継続的な指導というのはいうまでもないという説明がありましたので、私たち委員も、引き続き見守りながら、次回の第3回の会に向けて、それぞれの立場のところで情報をいただきながら、また協賛できればと思います。</p> <p>（「いじめ」をなくすということについて）なかなか具体的な方向を見出すというところには至りませんが、この委員会を通じて、それぞれの立場で安芸高田市の子供たちのことを考えていければいいのではないかなと思います。</p> <p>今後ともよろしくお願ひしたいと思います。本日はありがとうございました。</p>	